

児童・生徒数推計及び想定値について		
NO	氏名	御意見
1	ナガオカ 長岡 みつ江	児童・生徒推計についてはありませんが、その他の意見として又情報として、ご存じかも知れませんが、私は、補導員として常盤松校区をパトロールしています。学区構成が4月より変わり、小山小学校が、おたかの森支部に移りました。補導員数のバラつきがあり、住んでいる所から選出されている現状からおたかの森支部の負担が多くなりました。学区のパトロールする、実情に合わせてが違ってきました。他団体の活動も、その他で情報として載せてもらい、自治会の方々の情報も聞きたいのです。補導員も教育長から委嘱されております。同じ教育委員会の中で学区構成が変わると地域で活動している一番地域を歩いてパトロールしている補導員が実情と合わなくなり困惑しました。一言申し上げた次第です。 (青少年補導員は、青少年の健全な育成を願い「愛のひと声」をかけるように努めています。)
2	ハセベ 長谷部 年春	児童・生徒数推計は、大変むずかしいと考えております。推計はコンサルティング会社に委託しているものと思いますので、いたしかたないものと思います。
3	コバヤシ 小林 常男	令和6年度市野谷地区・南流山地区に開校新設校により、生徒数推計及び想定値が緩和されるが、高止まり傾向の八木地区・小山小学区の対策を検討されたい。
4	エンドウ 遠藤 タダキ	特に意見はありません。
5	オオダテ 大館 昭彦	流山市における人口の推移については、過去の例から考えても、大変難しいものであると推察します。専門機関であっても読み切ることができなかった小山小開校時からの経緯を大切に、住みたい街として評価の高い本市にあって、子供たちが困ることのないよう、今後も慎重に検討を進めていただければ幸いです。ご担当課の皆様方には本当に大変な業務かと存じますが、何卒宜しくお願ひ申し上げますと共に、暑さの厳しい折、どうかご自愛ください。今回の資料については、特に質問等はありません。今後共、宜しくお願ひ申し上げます。
6	クニイ 國井 紀子	流山市は、年々人口が増え又、各地に分散ではなく1ヶ所に増えている。この先、学校も増やしていかなければならないかも知れない少数学校も出てくる学校もあるかも知れないと思います。人が増え流山に活気が出るのは良いですが、なるべくなら各学校がなるべく平等数に近いと良いと思いました。
7	ササキ 佐々木 マキコ	文書確認させていただきました。特にありません。
8	ハヤシ 林 修司	・増加見込みについて 小山小学校児童増加見込みが想定されていないようだが、現状、小山小学区も区画整理終了後、宅地化が進んでおり、特に駒木地区（大堀川水辺公園付近）などは、一戸建て新築が多く見受けられる。今後も児童増加を想定した方がよいのではないかと。（別紙1） ・小山小学校児童推計値としては、令和5年度63人増、令和6年度31人増の予定となっているが、前項の理由でさらに増加すると思われる。（別紙3） ・使用可能教室数（別紙2）から考慮すると、小山小学校では令和5年度3教室、令和6年度4教室の不足となるが、想定内と考えていいのですか。最悪は、40人学級もあり得るのでは？ ・おたかの森小学校、南流山小学校については、別紙4の新設学校開校により対応できるので問題ないと思います。 ・おたかの森北1丁目11番地～13番地は、小山小学区の通学区域ですが、おおぐろの森小学校に就学した実績を教えてください。※対象学年と人数及び割合、バス通学など。 本来なら、近くの小学校に行けるはずが、行けないものもおかしな話です。実際に保護者の反論はあったのでしょうか。（希望選択としても）※通学距離の問題（登下校の安全性など）、また、同一地域での就学が違う場合の地域との連携に問題が生じるのでは？（コミュニティ・スクール）
9	コイズミ 小泉 イサオ	令和5年度小山小、おたかの森小の教室不足が心配されます。
10	イシイ 石井 孝浩	・市野谷地区・南流山地区の対象小学校4校については問題のないことを確認しました。小山小学校など数校は使用可能教室が不足することが気掛かりです。
11	タツタ 龍田 ススム	流山市人口が今年20万人を超えて増加する事は大変嬉しいことです。これに伴い児童が増え学校も規定により増える学校が増える事も理解します。そこで学校区について私の考えとして ①学校まで通学路の子供の安全確保が第一と思います。学校を設置する場合何処の子供達がどのルートで通学するのか決めたくうえで学校区も必要と思います。 ②兄弟で新しく出来る学校へ通学出来るか。よく家族の意見を取り入れる事も大切だと思います。
12	ミヤハラ 宮原 キョウコ	別紙1.興味深く拝見した。推計値・想定値との区別も理解できる。 3. (1) 精度の高い児童・生徒数推計及び想定値を作製する為、努力し増加見込みについては、最大値として算出している点に安心、信頼できる。 (2) その数値に相違が無いが3ヶ月毎に詳しく検討している点が良い。 別紙2. 小山小の使用可能教室が普通学級数46に対し47と余裕が無い。 別紙3. 八木南小がR4年から6年後R10年に4倍以上の児童数にこの想定値に現在の使用可能教室数25に 対し不足するがR6年開校仮称市野谷小と学区編成するのかと考える。おおぐろの森小もR10年は、 R4年度の2.69倍に増える。児童数のピークは6～7年後との事だが。 全体の感想として推定値・想定値の精度の高さに感心した。 (市全体) H. 29 (2017年)の児童・生徒数推計及び想定値を見ると H. 34 (2022年)の児童数 13,243人(445学級) 生徒数 4,900人(154学級) R. 4 (2022年)現在実数 児童数 12,980人(552学級) 生徒数 4,914人(232学級) 要望. 資料作製の時 和暦と共に西暦も全てとは言わないが何箇所かに入れて頂くとわかり易い。
13	タカシ 高西 ユキ	質問は特にありません。資料ありがとうございます。宜しくお願ひ致します。
14	ヤスエ 安江 裕子	P. 3(4) 文部科学省の国庫補助事業調査対象期間が3年とありますが、これは令和5年度から7年度までを指すのですか？生徒数の推計の調査の補助金を出してくれるということですか？わからないので教えてください。よろしくお願ひ致します。
15	オノデラ 小野寺 カツミ	1. 児童・生徒数推計及び想定値の算出方法については、特に異論ありません。 2. 八木南小の生徒数の推計・想定値によれば毎年大幅増が見込まれていますが、同校の立地が松戸市との境界に位置し、大半の生徒の通学時間が、他校に比べ、長くなるとの問題が懸念されます。